

( 2022 ) 年度

## 児童館事業年間活動報告書

( 朱雀第三 ) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア						
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
基	(2)児童館によっといデー けん玉道場	14 6月中	17	38	200	15	38	0	11	0	0	0	319	0 0 0	グラバンや、切り絵、凧作りなどを行なった。 けん玉道場ノートに従い、技を磨いたりけん玉の楽しさを知る。期間中、週に1回検定を行う。	どのよっといデーでも一定人気があり、楽しめていたものになっていた。
	コマ道場	12月中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	コマ道場ノートを受け取り、技の練習をしたり長回しの記録を図る。期間中、週に1回検定を行う。	参加人数は少なめだったが、これを機にコマにはまった子がいた。コマ大会を開ききっかけにもなった。
	(3)児童館で何しよう会	1	0	5	8	4	4	0	0	0	0	0	21	0	児童館でやってみたいこと、児童館があればいいなというものを出し合った。	いつもより人数が集まっていた。常連の子どもたち以外の子どもも来ていた。付箋に書いて廊下に張り出していることもあり、参加していなかった子どもたちからも意見が出ていた。
	法人交流名探偵シュサン	1	0	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10	0	法人内の4館でオンライン開催をして謎解きを行った。	他館の子どもたちと協力して謎解きをするのでよい交流になった。
	避難訓練	7	0	6	309	2	35	6	7	0	2	5	372	0	水害、火災、防犯、地震の避難訓練を行なった。	1か月に一回は避難訓練を行うことができた。消防署の方や、警察署の方に来ていただき、指導していただき、子どもたちも熱心に話を聞いていた。
	こいのぼりプロジェクト お話し会	1	1	2	29	0	2	2	9	0	2	1	48	0	三陸地方での震災直後の半年間のボランティア活動についてお話しいただいた。	実体験をもとにお話しいただいていたこともあり、子どもたちは集中して聞いており、話が終わった後は数人から質問も出た。
	こいのぼりがいっぱい プロジェクト	4月21日～ 5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	お話し会の参加者のメッセージや乳幼児さんの手形足形を鱗にしてアプローチに掲示をした。	お話し会の感想やイラストがたくさんあり、来館した方も立ち止まって見ていた。
	宝ヶ池公園遠足	1	0	2	64	1	8	0	0	0	0	0	75	0	小学校代休日にバスをチャーターして宝ヶ池子ども楽園へ行った。	学童の申し込みが多かったが、自由来館児童の申し込みが少なかった。この時期のお出かけ先としては、行動範囲が広く子どもがまとまりにくいので、検討が必要。
	駄菓子屋さん	2	8	36	102	21	16	2	9	0	0	0	194	0	高学年がお店番をして、お金の代わりになるもの（ペーロ）でお菓子を買う。	直前に配布したミニピラのおかげもあり、多くの参加があった。
	平和週間	1	0	0	209	7	14	4	0	0	0	0	234	0	職員が日替わりで一週間平和について話す。	お話しするのをみんなの会の時に行ったため、スムーズに話を進めることができた。
	デイキャンプ実行委員会	0	0	0	15	4	0	0	0	0	0	0	19	0	自分たちでお昼ご飯の献立を考えたり、予定を話し合った。	参加者の偏食傾向が強くてメニューがなかなか決められなかったが、自分たちでなんとか折り合いをつけていた。
	デイキャンプ	1	0	0	0	8	2	0	0	0	1	0	11	0	指月林で野外調理やボール遊びを行う。	今回は経験のない中で、かまど係を嫌がる傾向があったが、みているうちに来年はやってみたいという声が上がっていた。
	ロックソーラン隊	23	17	56	305	2	23	0	22	0	0	0	425	0	上北なかままつりやこどもまつりのステージで発表。	最初は見ただけだった子どもたちも見ていううちに参加するようになっていった。緊張しながらも頑張って踊り切った。

子ども育 成機 能	本 活 動	こどもまつり もりあげ隊	6	0	0	0	38	8	2	0	0	0	0	48	おみくじ付きのカフェ「ちょこっとカ フェ」を企画、運営する。 まつり後は小学生中学生と一緒に打上げ を行った。	盛り上げ隊は、カフェを担当し、子どもたちが くじ引きをするなどアイデアを出して準備。毎 日子どもたちが考えた言葉をおみくじに書くな ど、楽しく準備を進められた。 ネットワーク会議に代表者が参加し、意見表明 する場を持ったことは、今後の活動の発展につ ながる一歩となった。
		ステージ会議 ステージング	2	0	0	6	0	3	2	0	0	0	0	11	ステージに出る子どもたちで順番を決め る。	出演者が集まり、どんな発表をするのかを出し 合い、ステージ順などを話し合って決めること ができた。
		水てっぽうで遊ぼう	1	2	4	0	5	0	0	2	0	0	0	13	学童のお出かけに合わせて実施。水鉄砲 を使って水をかけあつた。	幼児と5年生がまともにやり合っており、ハラ ハラした場面もあったが、児童館に理解のある 保護者もしっかりとフォローしながらのしく あそぶ。
		交通安全のお話	1	0	0	67	0	8	0	0	0	0	0	75	中京署からの申し出で実施。最後は記念 撮影。	短時間だったがわかりやすいお話だった。反射 キーホルダーをいただいた。子どもたちも積極 的に手をあげて答えていた。
		Bやんちゃまつり	1	1	12	4	1	3	0	1	0	0	0	22	上・北・中京区の児童館・学童保育所ま つりをオンラインで開催する。	事前申し込みの子どもに加えて、当日参加も あった。借り物クイズなどみんなで楽しんでい た。
		ドッジボールフェスティバ ル練習	1	0	8	8	3	2	1	0	0	0	0	22	ドッジボールフェスティバルに向けた練 習を近くの公園で行った。	公園で遊んでいる子どもや親子も参加をし、い い雰囲気だった。
		イルミネーション点灯式	1	0	0	62	0	7	0	0	0	0	0	69	児童館アプローチのイルミネーションの 点灯。高学年がスイッチを押し点灯させ た。	低学年たちは高学年になれば自分たちも点灯の スイッチが押せることを楽しみにしていた。 「きれい！」と歓声があがった。
		ドッジボールフェスティバ ル	1	3	11	6	0	3	0	7	0	0	0	30	洛中、御前児童館と共に、朱七小学校校 庭を借りてドッジボールの試合で交流し た。	3館で行ったことで待ち時間も少なく、緩く楽 しめる内容になった。 応援の保護者も覗きに来てくれた。
		大掃除	1	0	3	55	0	6	0	0	0	0	0	64	館内、屋外の掃除を全員で行う。	みんな熱心に掃除をしていた。特に高学年は延 長して外掃除をしっかりとしてくれた。
		日写財団・サファリパーク を作ろう	1	0	13	9	0	0	0	0	0	0	0	22	地域の方の紹介で、日写財団での事業の 一環でワヤン&ガムランの干渉と体験を 行った。	タイトなスケジュールだったが、何とかやるこ とができた。子どもたちにとってはいい経験と なった。
		プレイグラウンド庭の遊び	1	0	0	5	1	1	0	0	0	0	0	7	こべる食堂による企画。触れて感じる アートで遊ぶ。	楽しく遊び込める仕掛けになっており、企画者 の説明や質問などで楽しむことができた。
		コマ回し大会	1	4	8	3	1	1	0	7	1	0	0	25	参加者を事前募集し、長回しや箱入れな どで競った。	当日参加や大人の参加もあり、とても盛り上 がった。力を発揮しきれずに拗ねたり離れたり する子どももいたが、楽しい時間になった。
(4)卓球クラブ	34	2	5	1	97	59	0	4	20	0	0	188	高学年対象のクラブ。毎週土曜日に行 う。	4月当初は継続の子どもだけだったが、徐々に 増えていった。ノートの作成、卓球大会を開催 したことで充実した活動ができた。		
朱三ラボ	12	0	0	0	45	24	0	0	0	0	0	69	高学年対象の制作系クラブ。アニメー ション作成や栽培活動など行う。	子どもとの話し合いを経て、楽しんで取り組む ことができた。今後はテーマを絞ってじっくり 取り組む活動を行いたい。		
(7)中高生企画	12	0	0	0	8	0	77	0	0	0	0	85	食べ物を作って食べたり、ボードゲーム などで遊ぶ。	できるだけ中高生の要望を実現することに努め た。食事作りが人気があった。		

														0 0	
	合 計	128	55	217	1454	274	271	96	79	21	5	6	2478		
推 進 活 動	公園であそぼうデー	9	12	90	83	20	15	1	9	3	0	0	233	近隣の光徳公園に行き、自由あそびや、 集団遊び、コマ回しなど児童館の取組 みなどを持って行った。	公園に集まる子どもたちを巻き込んだり、一緒 におられる保護者と立ち話をする中で、情報を 得られたり、気軽な相談の場所となっている。
	合 計	9	12	90	83	20	15	1	9	3	0	0	233		
	子ども育成機能 合 計	137	67	307	1537	294	286	97	87	24	5	6	2705		

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

( 2022 ) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 ( 朱雀第三 ) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数											内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計		
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
基 本 家 庭 支 援 活 動	(1)① めだかクラブ らっこクラブ いるかクラブ	36 36 49	182 277 514	0 0 7	0 0 0	0 0 0	0 0 0	178 283 430	0 3 0	0 7 0	12 0 0	372 570 951	乳幼児クラブを年齢別・月齢別に分けて行う。ふれあいあそび・季節行事・工作・リズムなど年齢にあった設定を実施。親子関係・子どもの発達を注視しながら取り組みを行う。	どのクラブも多くの参加があった。親同士の関係性がよく、楽しく過ごすことができた。	
	(1)② あそびの広場	40	232	12				200	2		12	458	毎週月曜日に開催。自由遊びの後にふれあい遊び・絵本の読み聞かせをおこなう。	乳幼児クラブの親子を中心に参加があった。初来館の親子にも声をかけるなど和やかな雰囲気だった。	
	土曜日のあそびの広場	2	24	4				23				51	父親も参加しやすいようあそびの広場を土曜日に行う。	「リサイクルデーど〜ぞ♪ど〜も♪」と同時開催することで初来館音きっかけや、多くの参加があった。お父さんの来館もあった。	
	(2)クリスマス会	1	32	17	4	6		34			9	102	乳幼児親子と小学生の合同のクリスマス会。京都少年少女合唱団のOBによるクリスマスソングのステージやサンタからプレゼントをもらいみんなで記念撮影をする。	久しぶりに小学校の広い会場をお借りすることができ、みんなで歌ったり、ゲームをしたりとても楽しい時間を過ごすことができた。	
	合 計														
支 援 活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	3 20 20 32 1 5 4	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }				85	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { 他館学童利用・学童保護者会活 動・学校での悩み・コロナ・要 対協 }			16 18 10 3 3 35	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { 児童館 }		2      2 2
		件数 計	170	-				85	-			85	-		
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題					
	親の会	7	松原中学校区に在住の子どもが発達が気になる保護者が年に数回集まり、地域で育ちあう仲間としてつながりあえる場所とする。				日程調整と呼びかけ。場所の提供、お茶などの用意。会の子どもの見守り。会運営のサポート。			小学生から中学生まで参加する保護者の幅が広く、初参加の保護者もいたが、中学校入学や通級のことなど質問にそれぞれの保護者が経験談を話す等活発に交流ができた。					
推 進 活 動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題								
	児童館ニュース ぼっぼ通信 ホームページ 子育て講演会	月1回  随時 年2回	ニュースの中に、子どもの権利条約の項目やつぶやきコーナーでメッセージ性のある文章を掲載するなどしている。ぼっぼ通信では、乳幼児親子に向けて情報提供を行う。ホームページでは情勢にあった情報の提供を行う。子育て講演会は、ネットワーク会議での勉強会の位置づけで「発達障害とセクシュアリティ教育」自閉症協会から講師(平木真由美さん)を派遣。また、あそびの広場ではぐくみネットワークとの共催で、「どうする?どうなる?スマホと子育て」と題し、市民インストラクター菅原邦実さんの講演会を行う。				講演会は子どもに正しく性について語るためにまず大人が正しく知るために講演会を行ったがとてもよい勉強になった。利用者のスマホを手放せなくなってしまった我が子(乳児)の悩みから、講演会を行った。後からの感想～お思い切って手放してみても、自分自身や兄にまでよい効果があったと喜んでいました。								

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題				
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計		
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ							
	(1) 地域住民との交流を促進する活動	こどもまつり	1	子育てネットワーク	50	87		24		4	141	306	民生少補社協 学童保護者会 小中PTA 保育園 子ども食堂	高辻通の南北のスペースで開催。距離があり要員は大変なようだったが、参加した子どもたちは楽しい時間を過ごすことができた。あいにくの雨だったが、自治連防災の方力でシートで雨対策を行うことができた。		
		大人もよっといデー	1	子育てネットワーク		1	5					6		6	おとな対象の太極拳に申し込みはあったが、当日は参加なし。子どもたちが数名参加して楽しんだ。	
		みんなのランチ	1	子育てネットワーク	2	16	11	3	2			12		46	自治連からいただいた防災用のアルファ化米と民生さん作成のカレー。差し入れのジュースもありおなか一杯食べることができて喜んでいました。	
		ど～ぞ♪ど～も♪	1	子育てネットワーク	18	3						17		38	利用者の要望があり、急遽土曜日のおそびの広場と合同で開催する。譲る側、もらう側が交流しながら行うことができた。	
		きつぱあくin壬生	7	学区社協	33							69		102	学区社協 民生	クラブメンバーの参加もあったが参加が少ない分、親子でゆっくりと取り組むことができた。
		みずのえ	1	こべる食堂	2	8	5	2	2			9		28	こべる食堂	ベシャワールの会の蓮岡氏から井戸堀の話だけではなく、アフガニスタンの様子や平和について触れることができた。その後、実際に掘られている井戸やそこから出た土を見せてもらい、とても興味深い時間を過ごすことができた。
		合計	12	-	105	115	21	29	4	4	248	526				
福祉	(2) ボランティア活動の推進	活動内容		活動人数				成果と課題								
				中学生	大学生	大人	合計									
		こどもまつり			2	3	5	以前、児童館を利用していた子どもが大学生になり、急遽ボランティアで子どものコーナーを担当してくれた。子どもたちとの交流も図れ、楽しんでいました。								
		乳幼児クラブ運動会		3			3	不登校で朝から児童館に来ていた中学生に声をかけ、運動会のサポートをしてもらう。普段関わらない乳幼児との関り「かわいい、かわいい。」と喜んでいました。								
		乳幼児あそびの広場		2			2	中学生に水あそびの前のシャワーの補助をしてもらい保護者の方も喜んでいました。短時間だが保護者の方との交流もできた。								
ボランティア体験						産大付属高校ボランティア部の活動の一環として児童館で活動する。子どもたちも喜んでいました。										
		合計	5	2	3	10										
進	能	連携団体等		連携内容				成果と課題								
		自治連合会、町内会長会		常任理事会出席(月1回)、回覧板、ポスター掲示、見守り隊、印刷機貸出等				児童館ネットワーク会議を中心に、児童館だけではなく地域として、今子どもたちにとって必要なことは何なのか?をリアルに掴みながら考え、実践していける場となっている。それぞれの組織の大変さも吐き出しながら、それでも前を向いて頑張ろうという場になっていることは、民生児童委員会会長の「これだけ児童館と一緒にやれているところはない」と言う言葉でも表現されている。 地域のイベントが天候により中止になったことで、こどもまつりに新たに体育振興会副会長が、子どもたちのために…と参加してくれたことは、とても大きな一歩となった。地域に開かれた児童館であることが、地域からの様々な支援を受け、また面白い企画が持ち込まれ、児童館となら手を組んでやれるというイメージが持たれていることは、このコロナ禍で様々なところが自粛していた中で、できる形で取組みを実施し続けてきた成果だと感じる。 学校、行政とこれまで取り組んできた会議やイベントができなくなっていたが、ようやく学校が開放の方向に動いているので、今後の関係を再構築したい。また、唯一の地域の中の児童福祉施設である保育園と、共同で取り組みができるように、ステーション事業の意味を理解していただけるように、働きかけ続けていく必要がある。								
		民生児童委員協議会		きつぱあくin壬生、こどもまつり、赤ちゃんサポート便、みんなのランチ												
		少年補導委員会		こどもまつり、子育てネットワーク												
		学区社協		きつぱあくin壬生、こどもまつり、みんなのランチ、子育てネットワーク												
		小中学校PTA		子育てネットワーク、こどもまつり												
		体育振興会		こどもまつり												
		小中学校		子ども情報の交換、朱三小学校運営協議会、松原中学保幼小中館連携会議、ニュース全生徒配布(毎月)、乳幼児向けイベント時の施設提供のお願い・半日入学での観察など												
		学童クラブ保護者会		子育てネットワーク、こどもまつり												
		こべる食堂		みずのえ、サファリパークを作ろう!(NISSHA財団事業)												
		中・下はぐくみ室		中京区: 子育て支援者ネットワーク(児童館窓口)、発達支援ネットワーク(運営委員)、きつぱあく、はぐくみネットワーク実行委員会、要対協、基幹ステーション会議												
		中京区社協														
		中京保育園・幼稚園・学校・児童館・障がい福祉施設		下京区: 児童館ニュースの配架 中・下: 虐待懸念事案相談、発達相談・情報共有、地域拠点保育園との連携による見守り、中部障がい者地域自立支援協議会												
中京はぐくみネットワーク																



地域活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		子育てネットワーク		民生児童委員会 主任児童委員 少年補導委員会 社会福祉協議会 朱三小学校PTA 松原中学校PTA 壬生寺保育園 学童クラブ保護者会 こべる食堂		ネットワーク会議(5回)	年間計画、情報交換 講演会、こどもまつり等企画相談 行事、活動の振り返り	今年度も各団体と情報交換を行い、まだ色々制約がある中ではあるが、できることをやろうと意思統一を行うことができた。また、今年度初めて、子どもの代表も会議に参加し、こどもまつりのコーナーの内容や準備状況を確認し合うことができ、子どもも大人もよい刺激になった。
福祉促進	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題
		印刷機の使用		資料、町内回覧などの印刷		自治連、町内会長会、社会福祉協議会 学童クラブ保護者会、少年補導委員会など		総会資料の印刷など地域の団体が気軽に利用されている。
		部屋の使用		会議等		学童クラブ保護者会 「親の会」 子育てネットワーク会議		
機動	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	
		児童館でなにしよう会	子どもたちが求める児童館活動の把握	一般来館児童 学童クラブ児童	児童館	ブレインストーミング	みんな真剣に考え、今まで行った行事を中心に自由に意見を出していた。なにしよう会をきっかけによく遊びに来る子もできた。	
		利用者アンケート	地域が求める児童館の把握	乳幼児クラブ保護者 行事参加者	児童館	アンケート	乳幼児保護者が乳幼児クラブや児童館に期待していることがわかった。クラブや行事の内容の見直しや充実を図	

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
報 活 動	児童館ニュース	月1回	利用者、地域住民	利用者配布、児童館内配架、地域回覧、町内会掲示、小学校から配布、中下子ども支援センター・保健センター・青少年活動センター配架・ホームページ上での掲載	児童館の行事・取組み予定・クラブの募集	・立看板は大きく道路に面して掲示していることから、通りかかった人の目にもよく止まり、「みんなのランチ」では立看板を見て食材の提供に來られた方もいた。今後も活用したい。
	ネットワークニュース	月1回	利用者、地域住民		地域に関する予定、広報すべき内容、先月の取り組み報告、啓発コラム	
	掲示板	月1回	利用者、地域住民	児童館前掲示板に掲示	児童館の行事・取組み予定・地域行事のポスター	・独自ホームページは、ブログの更新があまりできなかった。具体的な活動内容や日常の様子を利用者に伝える手段として、滞ることなく行いたい。
	ぼっぼ通信	月1回	乳幼児クラブ保護者 関係機関	利用者配布、子ども支援センター・保健センターに資料提供	乳幼児クラブの予定、先月の取り組み報告、情報提供、啓発	
	はばたけ学童っ子	月1回	学童クラブ保護者 小学校担任	学童クラブ在籍児の持ち帰り、小学校長・担任に配布・ホームページ上での掲載	学童クラブの予定、取組み・子どもの様子報告、啓発	
	独自ホームページ	適宜	利用者、地域住民 未利用者	独自ホームページ	ニュース・おたよりの掲載・ブログによる活動報告・児童館の案内 児童館でのコロナ対策、知見・啓発	・イベントのチラシは、児童が友達に手渡したり誘ったりしやすいよう小さなサイズにして配布した。以イベントへの参加のきっかけになった。
	ポスター、チラシ	イベント前	利用者、地域住民	児童館内・掲示板への掲示、町内会長ルートによる町内会掲示板等への掲示、児童館で手渡し	イベント案内	
	PRチラシ	随時	初めての利用者、未利用者	ゴミ袋を取りに來られた時など初めて來館された乳幼児の保護者へ配布、赤ちゃんサポート便、イベント時に配布	児童館の利用方法、乳幼児とその保護者が利用しやすい場の案内	
	立看板	イベント前	利用者、地域住民	児童館前に掲示	イベント案内	
	ブラックボード	毎日	利用者、地域住民	玄関	児童館で行っている感染症対策	
	学童申請案内	就学時健診時	次年度入学の保護者	小学校に依頼し就学時健診資料として配布	児童館のリーフレット 学童申請方法案内	
	入学おめでとうピラ	年1回	小中学校1年生	小中学校に依頼	児童館の紹介 館内見取り図	
	卒業おめでとうピラ	年1回	小学校卒業生	卒業式終了後、門前で配布	中高生は6時30分まで利用できることを案内 中高生企画イベントの案内	